

小學農學讀本

福井孝治編

卷之二

180
6
195

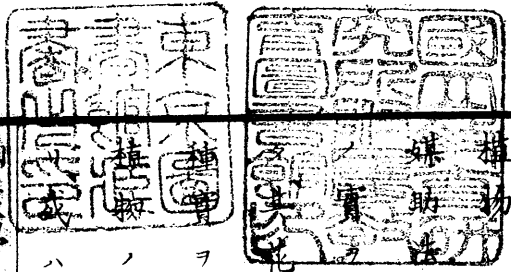
館藏書目大			
三	二	四	二
函	架	號	册

館
藏
書
目
大

福井孝治 著

第一回 植物ノ媒助法

植物ノ媒助法
 中ニテ、其實ヲ以テ、用ニ供スベキ種類ハ、
 フ施サジレハ、大ナル損失アリ、蓋シ植物
 結ブハ、恰モ、男女アリテ、子ヲ生スルガ如
 ニ雌雄アリテ、相交構スルノ、作用ニヨリ、
 フ得ベキモノナレバナリ、
 ノ中ニハ、天然ニ、雌木、雄木ノ別アルモノア
 ハ、其花ノ、三ニ、雌雄ノ別アルモノアリ、或ハ、



東京大学 農学部 植物学

一花ノ内ニ雌雄共ニ備ルモノアリ、其幹ヲ異ニシテ、全ク雌木雄木ノ區別アルモノハ、銀杏樹、麻、草綿等ノ類ニシテ、其幹根ハ、異ルニ非ズ、唯花ノミニニ雌雄ノ別アルモノハ、南瓜、西瓜、茄子、胡瓜、甘瓜等ノ種ナリ、又一花ノ内ニ雌雄両ツナガラ、備ハルモノハ、草木共ニ、其種類甚タ多シ、即チ、稻、麥、粟、稗、梨、葡萄、林檎、李等ノ類ヲ云フ、銀杏樹、麻、草綿等ノ如ク、幹根全ク雌雄ノ別アルモノハ、天然ノ作用ニヨリ、両花交構スルヲ得ルヲ以テ、別ニ媒助法ヲ施スニ及バス、此理ニヨリ、

麻ノ如キ、實ヲ欲セサルモノハ、雌木ノミヲ作ルヲ良トス、若シ、雌雄相混スル所ハ、彼ノ適宜ノ作用ニヨリ、雌雄交構スルヲ以テ、雌木悉ク實ヲ結ビ、其莖幹ハ、却テ力ナク、製造シテ後、大ナル損失アリ、是レ、自然ノ道理ニシテ、實ヲ結ガキハ、其花實ノ為メニ、莖幹ノ力ヲ分ツヲ以テ、却テ幹ノ力ヲ減スルモノナリ、我國ハ農家ハ、此理ヲ知ラス、雌雄相混シテ、作ルカ故ニ、西洋ノ麻ノ如ク、強ク、且、長キヲ能ハズ、故ニ務メテ、雌木ノミヲ作ルベシト雖、此類ハ、假令一畝ノ内ニ、雌木ナキモ、三

四里以内ニ、雄木アルキハ、自然ノ作用ニヨリテ、
實ヲ結ブガ故ニ、全國舉ツテ、雄木ヲ作ル_トヲ、廢
セサレバ、好結果ヲ得ル_ト、難シトス、
草綿ハ雌雄相交リテ、實ヲ結ブ、其實ノ衣ハ、即チ、
綿トナシテ、用ニ供スルカ故ニ、雌雄交ヘ作ルモ、
更ニ、妨ケナキガ、如クナレバ、雄木ニハ、實ヲ結バ
サルカ故ニ、之レヲ作ルハ、損ナリトナシ、小ナル
時ニ當リ、一々抜去ルハ、我國農家ノ習慣ニシテ、
最良ノ法タリ、其理ハ、前ニモ云ヘル如ク、此類ハ、
三四里以内ニ、雄木アリテモ自然吸収交構シテ、

實ヲ成シ得ル程ノ、勢力ヲ備フルモノナレハ、別
ニ利益ナキ、雄木ヲ作リテ、地ヲ塞ガサルモ、一畝
ノ内ニテ、幾許カ、稜餘リノ雄木アラハ、雌雄交構
ニ、事足ルベケレバナリ、故ニ此類ハ、媒助法ヲ、施
サバシテ可ナリ、
一根ニテ、其花ノミニ、雌雄アルモノハ、南瓜、西瓜、
茄子等ノ如ク、數花ノ開クアルモ、或ハ實ト成リ、
或ハ、成ラザルモノアル類ヲ云フ、世人、此實成ラ
サルモノヲ名ケテ、贅花ト云フ、即チ雄花是ナリ、
此類ハ、其雄花ノ花蓋、雌花ノ花蓋ト交リテ、實ヲ

九卷下ハ、同様ナレ氏、彼ノ雌雄異幹ノ植物ノ如ク、鏡キ交構力ナキガ故ニ、媒助法ヲ施サバレハ、充分ノ収額ヲ得ルヲ能ハス、

稻、麥、其他ノ菓樹ノ如ク、一花ノ中ニ、雌雄兩蕊ヲ備フルモノハ、媒助法ヲ施シテ、殊ニ益アリトス、何トナレハ、此種ノ雌雄蕊ハ、其交構力、頗ル微ニシテ、動キスレハ、他物ノ為メニ、妨害セララル、一アレハナリ、今之レヲ左ニ詳悉セン、

花蕊トハ、即チ花ノ心ヲ云フ、蕊ノ内ニハ、甘キ蜜ヲ含メルモノト、黄色ノ細粉ヲ貯フルモノトハ、

二種アリ、其蜜ヲ含メルモノハ、所謂ユル、雌蕊ナリモノニシテ、其黄粉ヲ貯フルモノハ、即チ雄蕊ナリ而シテ、此二蕊交構スル、所以ノ理ヲ探ヌルニ、雄蕊即チ黄粉、雌蕊即チ蜜ニ觸レテ、粘着スルニ外ナラス、故ニ若シ、疾風迅雨等ノ、此作用ヲ妨害スルモノアリテ、雄蕊即チ黄粉ヲシテ、空シク飛散セシムルカ、或ハ虻等ノ如キ、虫屬ノ為メニ、其雌蕊即チ蜜ヲ吸ヒ盡サル、時ハ、其花假令、美麗ニシテ、数多キモ、悉ク贅花トナリ、實ヲ得ルヲ、甚

分難カルベシ、

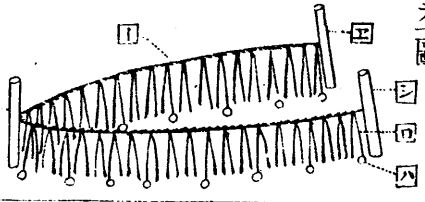
前ノ如キ害ヲ避ケンニハ媒助法ヲ行フニ如ク
モノナシ、媒助法ハ、本、填國、農學ノ大家、荷、衣、伯、連
氏ノ、發明スル處ニシテ、津田儂氏之レガ直傳ヲ
受ケ、帰朝シテ後、我國ニ傳ヘシモノニシテ、發明
未ク、其日淺シト雖、氏、歐米諸洲ノ大家、既ニ之レ、
ヲ、實地ニ試ミ、其利益ノ、少々ナラザルハ、明證一
ニアラズ、殊ニ我政府ニ於テモ、之レヲ勸業試驗
場ニ驗シテ、果シテ實益アルモノト定メラレ、其
他各地ノ農家ニ於テモ、之レヲ實施セシモノ、多
少其利益ヲ得タルヲ見レハ、此媒助法ナルモノ

ハ、實ニ農家、缺クベカラザルノ、務ヤト云フベシ、
媒助法トハ、彼ノ、前ニ示セル所ノ、雌、雄ト雄、雌ト
ヲ、媒、妁シテ、適宜ニ、交媾セシムルノ術ヲ云フ、而
メ、此術ノ、殊ニ、有益ナル所以ノモノハ、他ナシ、天
然ノ、交媾ノ、外、更ニ、兩、蓋ヲシテ、充分ノ、結合ヲ、得
セシムルヲ以テナリ、故ニ、媒助法ヲ行フタル處
ノ、穀物或ハ、菓實ハ、其、粒大ニシテ、外、數ヲ、増スノ
ミナラズ、其、量モ亦、大ニ、自然生ニ、超過スルモノ
ナリ、偕、其、媒助ノ、方法ニ、至リテハ、植物ノ、性質ニ
ヨリ、多少其、器械ニ、差異ナキヲ、能ハス、今、一々、之

レヲ說示スルヲ左ノ如シ、

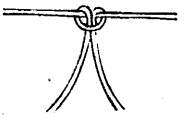
稻及ヒ麥ニ施スバキ、媒助法ノ器具ハ、第一圖ニ示セル如ク、麻繩ト羊毛トヲ以テ、作レルモノナ

才圖



リ、我國ノ農家之ヲ、津田繩ト稱ス、蓋シ津田氏ノ之ヲ、本邦ニ傳ヘシヲ以テナリ、即チ、**田田**ハ把手ニシテ、**(イ)**ハ麻繩ナリ、但シ此繩ノ長サハ、通例五間乃至六間ニ止ルモノトス、**(ロ)**ハ羊毛ヲ捻リテ、製シタル細線ニシテ、**(ハ)**ハ鉛丸ナリ、但シ**一丸**ノ重量ハ、**二錢**ヲ通例トス、

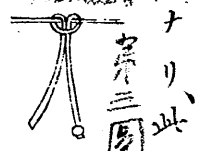
第二圖ハ、其細線ヲ、繩ニ結ブノ結構ヲ示スモノ



ニシテ、其垂ル、所ノ長サハ、四寸乃至、七寸ニ止ルモノトス、但シ**一繩**ノ内ニテ、甚シク、大小長短アルハ、宜シカラス、例ヘハ、

四寸ノ垂線ナラハ、何レモ四寸ニ定メ、五寸ノ垂線ナラハ、大抵五寸宛ニ、揃フルヲ可トス、

第三圖ハ垂線ニ、鉛丸ヲ結ベルノ体ヲ、示スモノ



ナリ、此線ハ、麻ヲ以テ作ル其距離ハ、二尺乃至、三尺、毎ニ、**一丸**ヲ垂ル、ヲ、通常トス、
借之ヲ使用スルニハ、先ツ、其垂線ヲ集合

才四圖



シテ、少量ノ蜂蜜ヲ塗擦シ、
 能ク之レヲ潤シ、置クヘシ、
 蓋シ此蜂蜜ヲ附スル所以
 ハ、其花粉ヲシテ、他ニ飛散
 セシメサルガ為ナリ、故ニ
 密ハ、可成少量ヲ要ス、若シ
 其量多キキハ、雄蓋之レニ
 粘着シテ、却テ其交媾ヲ妨
 グ、甚シキ損害ヲ招クベシ、
 第四圖ハ、農夫之レヲ、實施

スルニ依テ、体ヲ、承スモノナリ、即チ、
 直立シテ、繩ノ中央ニアル、
 ノニシテ、
 ヲ取り、左右ニ分レテ、繩ヲ
 ルモノナリ、但シ斯ノ如クス
 擦セル、
 肝要ナリ、
 右ノ如ク、
 穂ノ花、一時ニ咲キ揃フ
 ナ電氣ノ發スルカ如シ、
 斯ノ如ク其花ノ咲キ揃

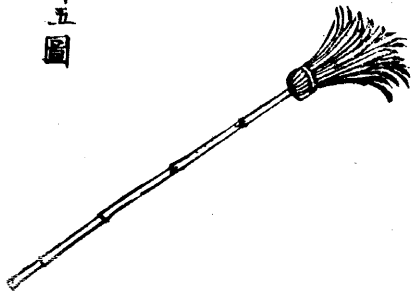
ヲ片小、雄蓋即チ黄粉ハ、細練ニ觸レテ之レニ着
キ、雌蓋即チ容ハ、雄蓋ヲ得テ吸収シ、全ク兩蓋交
構スルヲ以テ、其花盡ク實トナルノミナラス、穀
物ノ性質ヲ善良ニシ、其權衡ヲ増スニ至ル、
媒助法ヲ施スハ、凡十回ヲ相當トス、故ニ一日ニ
三度ノ比ヲ以テ、三日間之レヲ行フヘシ、然レ氏
風雨ノ日ニ於テスベカラズ、此理ニヨリ、早天ト
夕景ト、亦之レヲ避クベシ、蓋シ其疾風ノ時ハ、黄
粉飛散シ、之レニ反シテ、雨降ノ日ハ、黄粉其花心
ニ粘着シテ離レズ、雌蓋亦之ヲ吸収セザハナリ、

此法ヲ施スハ、其縮ト麥トヲ問ハズ、花ノ將サニ
開カントスルノ時ニ於テスベシ、餘リ早キニ過
グルカ、或ハ遅キニ失スルキハ、却テ益ナシ、若シ
其機會ヲ得テ、至當ノ媒助ヲナサンニハ、其収納
ノ時ニ至リ、必ス天性ノモノト比スレハ、三割ノ
増額ヲ得ヘシ、故ニ平常一石ヲ得ベキ土地ニ於
テ此法ヲ施スキハ、一石三斗ヲ得ルモノトス、是
實地經驗ニヨリ、平均ヲ求メシモノナレハ、固ヨ
リ、疑フ可カラサル処タリ、
今ヲ距ル一三年前、明治十
余此法ニ倣ヒテ、三畝

ノ麥ヲ作レリ、但シ其一畝ハ、法ヲ施スナク、唯
 天然ニ生長セシメ、残りニ畝ノ内、其一畝ヲ以テ、
 此法ヲ施シ、猶其一畝ハ、上巻ニ記載セル、麥壓
 車ヲ用テ、苗ヲ壓シ、生長スルニ及び、此法ヲ施セ
 リ、然ルニ、其収納ノ時ニ至リ、各其差ヲ現出スル
 ヲ見タリ、今其一坪ノ地ニ、獲タルモノヲ擧グル
 キハ、甲ハ、一外七合五勺強ニシテ、乙ハ二外二合
 ハ勺強、丙ハ、二外六合弱ナリシ、是ヲ以テ之レヲ
 見レハ、媒助ヲ施スト、施サザルトハ、一坪ノ地ニ
 於テ、五合三勺ヲ差ヲ生シ、壓媒ニ法ヲ兼用スル

戊ハ、殆ント、一外ノ利益ヲ得ベキナリ、

葉類ニ施スベキ、媒助法モ、亦此理ニ外ナラス、然
 レバ、其形状異ナレハ、其之ヲ施スベキ器械モ、亦
 異ラザル可カラス第五圖ノ葉類媒助ノ器械ヲ、
 示メセルモノニシテ、(甲)ヲ織
 毛トシ、(乙)ヲ把柄トス、其密ヲ
 以テ、織毛ヲ潤ス、ハ、稻麥媒
 助ノ器具ニ異ナラス、把柄ノ
 如キハ、樹木ノ高低ニ隨ツテ、
 長短アルベシ、



才五圖

借之レヲ、使用スルニハ、其何ノ樹タルヲ、問ハス、
花ノ稍開カントスルノ時ニ、於テスベシ、但シ朝
夕及、風雨ノ日ヲ忌ム、
穀物ノ媒助ニ同シ、
媒助法ヲ施スニハ、各種ノ樹木ニ隨ヒテ、各異ノ
器具ヲ用ウベシ、例ヘバ、梨樹ニ用ウル器具ハ、梨
樹ノミニ使用シ、林檎ニ用ウル器具ハ、林檎ニノ
ニ用ウルガ如ク、彼是混合セシムル勿レ、穀類ノ
如キモ、亦然リ、麥ニ用ウルモノト、稻ニ用ウル器
具ハ、全ク區別セザル可カラズ、又同種ノモノト
雖、其性ノ異ルモノハ、之レヲ別ツテ良シトス、

假令ハ、稷ト糯、早稻ト晚稻、稗、麥ト大麥、小麥ト燕
麥トノ如キ、皆器具ヲ異ニスルヲ宜シトス、

第二回 穀物ノ採納

採納ハ、甚ダ大切ノ業ナレバ、其利害得失ヲ、豫メ
計算シテ、之レニ、着手セザル可カラズ、抑モ、稻ヲ
採ムルハ、其良ク干上リクルヲ見テ、之レヲ一所
ニ集合シ、稻採ト云ヘル、器械ヲ用キテ、其穗ヲ採
キ落スベシ、其際、穗ノ藁ニ殘ラサル様、注意スル
肝要ナリ、借之レヲ、採キ終レバ、田臼ト云ヘル、
器械ヲ用キテ、穀ヲ挽キ割リ、而シテ後篩ヲ以テ濾

ス片ハ皮米全ク區別スルヲ得ベシ、此ニ於テ、始
メテ純良ノ米トナル、

麥モ亦、竝入ノ後、太陽ニ乾シ、其干上リタル上ニ
テ、製造スルナリ、之レヲ製スルニ、二様アリ第一

第六圖



ハ生落シナリ、生落シトハ第
六圖ノ如キ、器械ヲ設ケ、麥ノ
穂ヲ、敲キ落スノ工風ナリ、第
ニヲ焼落シトス、焼落シトハ、
其穂ニ大ヲ移シ、外皮ト刺針
トヲ、焼キテ、實ノミヲ殘ス法

ナリ、此ニ法ハ内焼落シハ、頗ル便利ナレド、能ク
熟鍊セザレバ、為シ難キトナリ、其故ハ、火氣ノ為
メ、實ト共ニ、焼失スルトアレバナリ、
右ノ二法ヲ用キテ、落シタル麥ハ、揃ホ槌ヲ用キ
テ、能ク敲キ、後篩ヲ以テ、外皮ヲ去リ、純良ノ實ヲ
得テ、之レヲ俵ニ貯フ、

第三回 牧畜及養蠶

牧畜トハ、人生必用ノ獸類、及、鳥類等ヲ畜フテ、繁
殖セシムルノ業ヲ云フ、
牧畜ハ、最モ太古ヨリ、人ノ著手シタル業ニシテ、

其利益頗ル大ナルモナリ、牧畜ノ中ニテ、人生ニ飲ガベカフザルモノハ、馬、牛、羊、雞、犬、豚、ノ六畜ニシテ、鹿、駱、駝ノ類、之レニ亞グ、

牧畜ノ利益ハ、甚ダ大ナルモノニシテ、之レヲ條擧フルハ、第一、耕作ニ役使スベク、又運輸ニ便スベシ、第二、食用トナスベシ、第三、其糞尿ヲ以テ、肥料ニ供スベシ、第四、乳汁ハ飲料トシテ、滋養ノ功アリ、第五、其毛ヲ以テ、器物ヲ製スベシ、第六、皮ヲ以テ、器具トナスベシ、第七、其角、蹄、牙、骨等ヲ以テ、器物ヲ製スベシ、得ベシ、

右ハ、概テテ、牧畜ノ利益ヲ擧グルモノニシテ、必ズ、何獸ヲ畜フモ、第七條マテノ利益アリト云フニ非ズ、故ニ、或獸類ニ於テハ、其用唯單ニ一方ニ止ルモノアリ、又ハ、兩三用ヲ兼ヌルモノアリ、假令バ、牛ノ如キハ、其用廣ク、耕作ニ用ウベク、又運輸ニ供スベシ、而シテ、其肉ハ食フテ、人體ニ適シ、其乳ハ飲料トナシテ、滋養ノ功アリ、其他、皮角ハ、器具ニ製シ、糞ハ肥料トナシテ、功アルガ如ク、數多ノ用ヲ、兼ヌルト雖モ、駱、駝ノ如キハ、全ク之レニ反シ、運輸ノ便ヲナスノ外、又他用ナキガ如



行フ、肝要ナリ若シ其レシテ、飢ヘシムルカ如キハ、最モ天理ニ背ケルモノト云フベシ、何トナ

シ、
 牧畜ヲナスニハ、先、其禽獸ノ性質ヲ詳ニシ、其食品ノ定ムベシ、夫レ家畜ハ、人ノ真ヘコテ、世ニ生活スルモノナレバ、之レヲ牧スル者ハ、其獸ト禽トヲ問ハズ、適當スベキ食物ヲ撰ミテ、不足ナキ様、宛

レハ則チ、家畜ハ本、自活ヲ得ベキ、身体ヲ有スルト雖モ、曲ゲテ人ニ隨從シ、敢テ自ラ恣ニヤス、人ノ為メニ、益ヲナスモノナレハナリ、故ニ、之レヲ牧スル者ハ、宜シク其理ヲ察シ、慈愛ノ心ヲ以テ、之ヲ、飼養セザルベカラス、家畜ノ中ニハ、野飼トナスベキモノアリ、或ハ、ナスベカラザルモノアリ、其野飼トナスヘキモノハ、成ル可ク食用ノ克分ナル、土地ヲ撰ミ、之ヲ放飼スベク、其然ラサルモノハ、充分ノ秣ヲ與ヘテ、之ヲ畜フベシ、
 家禽トハ、雞、家鳧、及ビ、鳩ノ類ヲ云フ、此内、雞、及ビ、

家鳥ハ食用トトスベク、又其糞ヲ以テ、肥料ニ供
スベシ、而シテ其卵ハ、滋養ノ功アリ、又糞鳩ハ、肥料
ヲ俟ツノ外、用ナシ、但シ、鳩ノ糞ハ、肥料トナシテ、
其功驗、最モ著シキガ故ニ、非常ノ高價ニ、至ルモ
ノナリ、亞米利加ノ如キ、甘蔗ヲ多ク、作ルガ故ニ、
鳩ノ糞、頗ル高貴ノ價ヲ占ムト云ス、家禽ハ、大抵
穀物ニ非レバ、飼フ_レ能ハズ、
農家ニ、必用ナル家禽ハ、雞ニ如クモノナシ、凡ソ
農家ハ、穀物ヲ製造スル_レ、其業ナルガ故ニ、如何
ニ註ノ、心ヲ用キテ、損失ナカラシメント、欲スル

其多數ノ米穀必ク、幾分_ク、廢溢ニ屬スルモノナ
キ註ハズ、然ルニ、雞ヲ飼養スルキハ、此廢溢ノ穀
物ヲシテ、廢溢ニ屬セシメス、之ヲ以テ、食料ニ充
ツルガ故ニ、其利益、頗ル大ナリトス、
牛馬ノ用多キハ、日常人ノ、目撃スル所ニシテ、其
之ニ次グモノハ、羊ノ種類ナリ、今吾人ノ、服用ス
ル處ノ毛布ハ、槩モ此獸ノ毛ヨリ成レリ、但シ此
類ハ、野飼トナシテ、適當ナリトス、
駱駝ハ、運輸ノ便ニ供スルニ、最モ適當ノ獸ニシテ、
砂漠地方ニ於テハ、此獸ナケレバ、殆ント行クベ

カラス、然レ氏、其獸本、熱帶地方ニ生レバ、産ルル
 一ナキカ故ニ、牛馬ノ如ク、一般ノ用ヲナスモノ
 ニ非ス、



家畜ノ内、犬ハ、食用ニモ供シ難ク、又運輸ニモ、便
 役スル一能ハズ、更ニ用ナキカ、如クナレ氏、其實
 ハ、決シテ然ラス、農家ニハ、殊
 ニ要用ナリトス、何トナレバ、
 農家ハ、春ヨリ冬ニ至ルマテ、
 大抵晝間ハ、家居スル一ナク、
 田野ヲ以テ、家トナスカ故ニ、

其家ヲ、衛ルモノニ乏シク、剩サヘ、多クハ其門鎖
 嚴ナラザルヲ以テ、動モスレバ、盜賊ノ難ヲ、免ル
 、一能ハズ、犬ノ用ヲナスハ、即チ此時ニアリ、
 猫ヲ飼フハ、鼠ヲ防グノ一術ナリ、蓋シ農家ハ、鼠
 ノ害ヲ防ガザレハ、一年間ノ損失、少々ニ非レバ
 ナリ、

養蠶

養蠶トハ、蠶ヲ養フテ、其製品ヲ得ルノ業ヲ云フ、
 養蠶ハ、婦人ヲ以テ、相當ナリトス、
 蠶ニ、二種ノ別アリ、一ヲ桑蠶ト云ヒ、一ヲ天蠶ト

ス、桑蠶トハ、家ニ養フテ、繭ヲ作ラズベキモノト云ヒ、天蠶トハ、野ニ放飼スベキモノト云フ、桑蠶ニ、兩三種アリ、春蠶ハルコ、夏蠶ナツコ、間蠶トキコ等ノ如シ、此内、春蠶ト夏蠶トハ、同種モノニシテ、毎年兩回、孵化スルモノナリ、即チ春蠶ノ卵、夏ニ至リテ、孵化スルモノヲ夏蠶ト云ヒ、夏蠶ノ卵、春ニ至リテ、孵化スルモノヲ春蠶トナセガ如シ、間蠶トハ、毎年一回ノミ、孵化スルモノヲ云フ、其期ハ、大抵夏蠶ト同一時、或ハ少シク先ツノミ、桑蠶ノ内、製造シテ糸ニ光澤アリ、且堅剛ナルモノ、此種ニ如クモノナシ

天蠶アマテマ、俗ニ山繭ト稱スルモノニシテ、山野ニ自生スルノ、蠶種ヲ云フ、此類ハ、之ヲ家ニ飼養スベカラズ、故ニ、適宜ノ山野ヲ見テ、放飼スベシ、但シ此種ノ食葉ハ、樅、檜、楮、楊柳、梅、栢、椎、栗等ナリ、其内、樅、檜、楮ノ三葉ハ、最モ適當セリ、天繭ハ、山野ニ、自生スル程ノモノナレバ、其飼養法ニ於ケルモ、桑蠶ノ如ク、綿密ヲ要スベキニ、非ズト雖、其害物ニ於テハ、之ヲ防ガザルベカラズ、害物ノ主ナルモノハ、鳥類ノ來啄スルト、蟲類ノ集合スルトノ、二者ナリ、其他、天災ノ如キ豫シ

メ防グベカラズ、而シテ其鳥類ノ害ハ、防グニ空炮
ト、鳴子トノ二法アリ、蟲類ヲ滅スルハ、毎木鳥糞
ヲ卷キ、或ハ、毛髮ヲ卷クノ外、更ニ毎年、下タ草ヲ
焼クノ法アリ、然ルキハ、其卵ヲシテ、焼滅セシム
ルガ故ニ、自然蟲類ヲ、絶スルヲ得ベシ、
蠶ヲ養フハ婦人ノ業トナスモ、適當ナルガ故ニ、
農家ニハ、殊ニ其利益多カルベシ、養蠶法ノ、主眼
ナルモノハ、桑木ヲ培養スルト、蠶室ノ適否ト、養
蠶者ノ老練ト、蠶種ノ良否トナリ、此内、第一條、桑
木培養法、第二條、男子ニシテ、成シ難シト

雖氏、他ノ三條ハ、全ク女子ニシテ、成シ得ベシ、但
シ、第二條ノ、蠶室ノ如キハ、第三條ヲ知ルキハ、自
ラ了解スルヲ得ヘシ、

桑木培養法ハ、次田、種藝ノ部ニ於テ、詳細之ヲ陳
ブルヲ以テ、此ニ掲ゲズ、第二條蠶室ヨリ、逐次論
及説明スベシ、

蠶室ノ如何ハ、各地方ニ隨ヒテ、少差ナキヲ、能ハ
ズト雖氏、要スルニ、空氣ノ流通スル所ヲ以テ、可
ナリトス、但シ、地方ニヨリ、南風劇シキ地アリ、又
ハ北風ニ富メ、北風アリ、其他、或ハ西、或ハ東、其土地

ノ模様ニヨリ、劇シク風ノ來ル方ハ、必ず塞グヲ
宜シトス、

蠶室ニハ、太陽ノ直ヲニ來リ照スヲ忌ム、故ニ其
窓ハ、必ず、白布ヲ垂レテ、之ヲ防グヘシ、然レハ、室
中ノ黯黒ナルハ、敢テ求ムル所ニ非ズ、

室内ニ、空氣ヲ導クハ、土地寒暖ノ模様ニヨリ、實
地斟酌セザルニカラズト雖、大抵朝ハ其窓ヲ
開キ、清淨ノ空氣ヲ容ルベク、而シテ、午前十時頃ニ
至レハ、之ヲ閉ヅベシ、是ヨリ、一時間毎ニ開閉ス、
午後五時ヲ過グレハ、閉鎖シテ、僅カニ空氣ヲ通

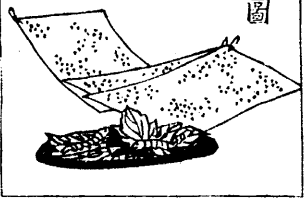
スルノ外復ク開クベカラズ、然レハ此間實地ニ
就キテ、恰好適宜ニ、斟酌スヘシ、

蠶ニ、四眠四起ト云ヘンナリ、養蠶者ノ注意ス
ベキ、第一ノ要点ナリ、四眠トハ、最初半化ヒシヨ
リ、最終繭ヲナスニ至ル迄ノ間ニ、四度ノ休眠時
期アルヲ云フ、此間ハ、其口ヲ閉ヂテ食ハズ、其足
ヲ休メテ動カズ、毎眠必ず、其表皮ヲ脱スルナリ、
四起トハ、眠終ソテ、食ニ就クノ時ヲ云フ、四眠ア
ルが故ニ、必ず四起アリ、

蠶ノ卵化スルヤ、顔丸微細ニシテ、恰モ、髮ノ刺屑

如之、皆種紙ニ附着セリ、其之ヲ掃ビ落スニハ、
鳥ノ羽ヲ用ウミシ、而シテ此ヨリ、第一眠ニ至ルノ

才九圖

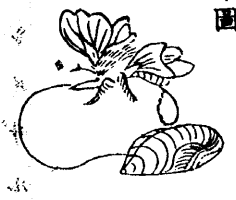


間ハ、柔葉ノ新芽、極メテ柔軟ナルヲ、
細切シテ與フベシ、
第一起ヨリ、第二眠ニ至リ、第二起ヨ
リ、第三眠ニ至ル、漸次其形大トナリ、
第三起ヨリ、第四眠ニ至ル、最モ食葉ヲ増ス、第四
起ヨリ、繭ヲナスニ至ルノ間ハ、却テ第三起ノ如
クナラズ、

第四起ヨリ、經テ、蠶漸ク食ヲ辞シ、繭ヲ作ラント欲

シテ、其場處ヲ求ムルニ至ラバ、柔葉ヲ與フルヲ
休メ、マブシクヲ與フベシ、蠶既ニ、繭ヲナスキハ、靜
ニ光線弱ク、空氣ノ流通ヨキ所ニ、移シ置ベシ、而
シテ、數日ヲ經テ、繭ノ中ニ在ル處ノ蠶變化シテ、サ
ナギトナルニ至レバ、之ヲ一箇ツ、マブシヨリ
取リテ、筵ノ上ニ並バベシ、

才十圖

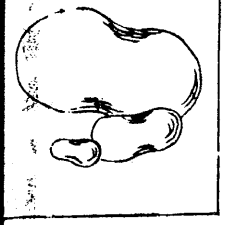


蛾トハ、サナギノ、再ビ化シタルモノ
ヲ云フ、サナギ既ニ、蛾ニ化スル中ハ、
其繭ヲ喰破リテ、外面ニ出ルガ故ニ、
其蠶種、ナギベキモノ、外、蛾ニ化

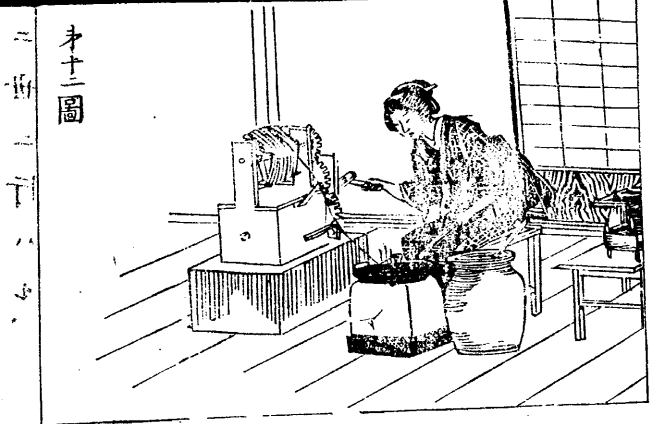
セシメザルヲ要ス、娥ノ出タル繭ハ、絲ニ製スルヲ得ザルモノナリ、

サナギノ、娥ニ化スルヲ、防グノ法ハ、繭ヲ大陽ニ乾カスコト、兩三日ニシテ、サナギヲ殺スカ、或ハ蒸スカ、或ハ湯ニ入ル、カ、此三法ノ内、適宜ニ之ヲ行フベシ、但シ、其簡便ニシテ且繭ノ為メニ、宜シキハ、大陽ニ乾カスニ如クモノナシ、然レモ、時ニヨリ、霖雨ナドニテ、此法ノ、施シ難キコトアルモ、餘ノ二法ニ據ルヲ可トス、

本一圖



製絲ノ事業、最モ注意セザルベカラズ、蓋シ養蠶ノ利益ハ、製絲ノ如何ニ關ス



本二圖

スルヲ、大ナレハナリ、絲ヲ製スルニ、二法アリ、一ヲ器械取ト云ヒ、一ヲ手取ト云フ、器械取リトハ、器械ニ掛ケテ製スルヲ云フ、器械ニモ、種類アレバ、要スルニ、手取ヨリハ簡便ニシテ、且其絲、精良ナリ、近年坐操ト云ヘル器械盛



養蠶圖

二世ニ行ハレ、
 手取ハ、未タ罟械取リノ、發明ナキ以前ニ於テ、施
 コセシモノニシテ、今猶現存スト雖、氏罟械取ニ
 比スレハ、最モ、迂遠ナルノニナラス、其絲大抵、太
 ク且節アリ加フルニ、光澤、器械取ニ及バザルガ
 故ニ、其市價大ニ廉ナリ、故ニ、養蠶家ニハ、必ラズ、
 罟械ヲ購求シテ、精良ノ絲ヲ、製
 出スベキナリ、
 製絲ヲナス中、繭ヲ煮ルニ、用ウ
 ル鍋ハ、銅鍋、又ハ、土鍋ヲ宜シト

ス、鉄鍋ニテハ、絲ノ白ヲ害スルヲ多シ、
 生絲ハ、我國輸出品ノ、其一ニシテ、最モ外國人ノ
 賞譽ヲ得タルモノナレバ、猶一層、事業ヲ盛大ニ
 シ、其製方ノ如キハ、最モ注意シテ、不良ノ品ヲ、製
 スルヲナク、欺偽ヲ用ウルヲナク、益彼が賞譽ヲ
 得テ、國益ヲナスヲ謀ルベシ、

第三回 種藝

種藝トハ、穀物、野菜ノ外、更ニ緊要ナル草木ヲ、培
 養スルノ業ヲ云フ、楮其緊要ナルモノハ、本、其種
 類多キガ故ニ、一々收舉ニ、遑アラスト雖、氏、緊要

中ニ於テ、最モ緊要ナルモノハ、茶、桑、楮、麻、砂糖、烟
草、檫、臘、葡萄、蘭、諸葉樹等ナリ、其他草木ノ如キ猶
人世ニ必用ナルモノ、多シト雖、極メテ、培養ノ
難カラサルモノハ、之ヲ省ク、

茶ハ、人ノ日常飲料ニ供スルモノナリ、其資本、人
身ノ健康ヲ養フニ足ラザルノミナラス、幾分ノ
害アリト雖、我國ニハ、中古ヨリ、之ヲ喫飲スル
ノ習慣トナレルヲ以テ、習慣上ヨリシテ、却テ、健
胃ノ功ヲ奏スルニ至レリ、殊ニ近來ハ、輸出品ノ
一ニ、居ルカ故ニ、益、欽、ダ、ベ、カ、ラ、ザ、ル、モノトハ、ナ

リシナリ、

茶ヲ培養スルハ、山畠ノ膏沃ナル土地ニ於テ、ス
ヘシ、但シ、土色ノ如何ニ拘ラズ、東南ヲ受ケテ、西
北ヲ塞ギタル、暖氣ノ地ヲ、可ナリトス、其實ヲ蒔
クハ、二月頃、春雪解ケルヲ俟テ、兼テ地拵ヘシタ
ル場所へ、成ルベク、充分ノ肥料ヲナシ、實ノ痕ナ
キモノヲ撰ミ、雞糞ヲ加ヘテ、之ヲ蒔クベシ、雞糞
ハ、土鼠ヲ避クルガ為メナリ、

實蒔シタル茶ハ、大抵、五十日前後ニシテ、盛ニ生
出スルモノナリ、而シテ、四五年目ニハ、葉ヲ摘ムヲ

得ベシ、肥料ハ、腐草、鮓、下糞等ヲ宜シトス、凡ソ一年ニ四度、充分其根ニ灌グベシ、殊ニ寒肥ヲ良トス、生長スルニ隨ヒ、人糞其功多シ、

芽ヲ摘ムハ、土地ノ寒暖ニヨリ、一定シ難シト雖、氏、大抵立春ヨリ、百日目位ヨリ、摘ミ始メ、凡ソ十日間ニ、摘ミ終ルヲ通例トス、製造シテ、種類ヲナス、貿易ニ用ウルモノハ、紅茶ニ如クモノナシ、茶ヲ製造スルハ、初メ蒸籠ニテ蒸シ、青臭ヲ去リ、而シテ後、助炭ト云ヘル、培爐ニ掛ケ、濕氣ヲ去ル、而シテ三度、此間絶ヘズ、手ニテ揉ムベシ、乾燥シタル後、

篩ニテ、大小粉等ヲ分チ、其正茶ハ、盆ニ並ベテ、莖及ビ、粗葉ヲ撰リ分チ、再ビ助炭ニ掛ケテ、之ヲ収ム、

桑木ヲ、培養スルハ、蠶ヲ養フノ本ナレ、最モ注意セサルベカラズ、肥料ハ、年凡ソ三度位、腐草又ハ、人糞ヲ用ツベシ、然テ、草木ヲ、盛ニ生長セシムンニハ、其枝ヲ曲ゲルヲ以テ、肝要ナリトス、但シ、此發明ハ、奥國ノ學士、荷衣氏ニ係リ、津田健氏ノ之ヲ、我國ニ傳ヘシモノナリ、蓋シ我國ノ農家モ、古來白アリ、之ヲ知ラザルニ非ズ、雖モ、未ダ習テ、

其理由ヲ知ラザルヲ以テ、性々之ヲ、等閑視セシ
モノナリ、

枝ヲ曲ゲルノ度ハ、水草ヨリ、稍下ニ傾ルシムル
ヲ以テ、可ナリトス、餘リ、曲ケ過グルキハ、却テ其
木ヲ害スベシ、抑、此法ヲ、用ウルキハ、嘗ニ桑樹ノ
ミナラズ、諸ノ草木、其葉繁リ、其實結バコト天然
ノモノニ勝ルハ、實驗既ニ其證アリ、農家夫レ勉
メテ其利ヲ持取スベシ

楮ハ、山島ト雖、天培植スルヲ得ベシ、但シ、膏腴ノ
土地ニアラザレバ、其枝葉繁ラス、其外皮モ亦、厚

カラザルガ故ニ、製造シテ時ニ當リ収額ノ少ナキ
ノミナラズ、製紙シテ後、其品下等ナルベシ、肥料
ハ、下糞、又ハ、腐草ノ類ヲ宜シトス、
楮モ亦、種類多シ、而シテ、三股樹ハ、一種特別ノモノ
トス、此種ハ、培養シ易クシテ、収額多キガ故ニ、近
年ニ至リ、之ヲ作ル、甚ク盛ナリ、然レ、天、此樹皮
ニテ、製シタル紙ハ、真楮ノモノニ比ブレバ、頗ル
下等ナリトス、

紙ヲ製スルハ、極寒ノ時ヲ宜シトス、其法、楮ヲ切
リテ、其皮ヲ剥ギ、水ニ浸シ置ク、一夜、亂踏シテ、

荒皮ヲ去リ、而シテ後、庖丁ヲ以テ、外皮ト内皮トノ
間ニ在ル、淺青ノ中皮ヲ剥除シ、遂ニ得ル處ハ、内
皮ヲ以テ、水ニ曝ス。二三日間、石灰、及ビ、清水ヲ以
テ、之ヲ煮、其柔軟トナルヲ候テ、之ヲ揚ゲ、又沸水
ニ曝シテ、精製シ、終ニ、石臼ニ入レテ舂搗シ、其綿
絮トナレルモノヲ、槽ニ移シ、水ニ混シテ、溶解セ
シメ、攪拌スル。數百回後、簾ヲ用テ、之ヲ搖リ、
始メテ紙トナス、之ヲ乾板ニ貼リテ、干スナリ、
其他、麻、草綿、砂糖、藍、諸葉樹等ノ如キ、摘カ農家緊要
ノモノ、少カラズ。ト雖、凡、紙數、定限アルハ、委シク

之ヲ揭ゲル能ハズ、實地經驗、其宜シキヲ取ルベ
シ、麻ノ如キハ、其播種以前ニ於テハ、成ルベク、肥
料ヲ充令ニスベシト雖、凡、播種後ハ、決シテ之ヲ
施スベカラズ、草綿ノ如キ、肥料ヲ用ウル。度ニ
過グルルハ、却テ害アリ、乾地ニシテ、砂ヲ含メル
處、最モ適ス、故ニ雨多キ年ハ、大抵不作ナリ、砂糖
ハ、甘藷ヨリ製ス、甘藷ハ、肥料ニ飽カザレハ、成長
スルヲナシ、牛馬糞、牛骨、鯨等ヲ用ウベシ、藍亦、砂
土相混ズル、乾燥ノ地ニ適ス、肥分ヲ用ウル。凡
ソ三田、農家ニアリテ、最モ有益ノ植物ナリト云

フ、其餘菓樹ノ如キ、種類多々、一々説クニ違アラ
ズ、中ニ就キ、葡萄ヲ以テ、利益多キ菓樹トス、皆曲
技法ヲ用斗テ益アリ、

小農學讀本卷ノ二畢

定價拾錢

明治十二年十二月五日板權免許
全 十三年十二月 刻成出版

編輯人 福井孝治

島根縣士族

出版人 浅井吉兵衛

大坂府平民

備前國岡山西中山下
四十四番地寄留
東區唐物平四丁目
拾番地

出雲松江天神界

弘通 川岡清助

大坂唐物平四丁目

書肆 鹽治芳兵衛

備前岡山町

細謹社